

# 貝田速報 & 解説

## 2025

◇「実質的支配者の情報は 11 月 1 日まで  
完了しなければならない



### DELIVER THE LATEST INFORMATION

最新な財税情報、政策  
専門的な事例解説



貝田財務諮詢(上海)有限公司  
KAIDA FINANCIAL CONSULTING (SHANGHAI) CO.,LTD.  
住所:上海市徐匯區宜山路 425 号光启城 410 室  
TEL: 86-21-6083-9925  
メールアドレス:kaida\_office@kaida.sh.cn  
HP: <http://www.kaida.com.cn>

# About Beneficial Owner

実質的支配者の情報時は 2025 年 11 月 1 日までに完成しなければならない

受益所有人信息备案, 请于 11 月 1 日前完成

「実質的支配者情報管理办法」（中国人民銀行、国家市場監督管理総局

[2024] 第 3 号）は、办法実施前（2024 年 11 月 1 日前）に登録し届出主体（企業）は、2025 年 11 月 1 日前に、办法規定に従って実質支配者情報を届出しなければならない。届出主体（企業）が規定に従って実質支配者情報を届出を行っていない場合、企業登録管理に関する行政法規に基づいて処理する。

《受益所有人信息管理办法》（中国人民银行令 国家市场监督管理总局令〔2024〕第 3 号）规定，在办法实施前（2024 年 11 月 1 日前）已经登记注册的备案主体，应当于 2025 年 11 月 1 日前，按照办法规定备案受益所有人信息。备案主体未按照规定办理受益所有人信息备案的，依照企业登记管理有关行政法规处理。

主体类型	是否需要备案
公司、合伙企业和外国公司分支机构	应当备案
非公司企业法人、个人独资企业、农民专业合作社(联合社)及其分支机构, 以及境内公司、合伙企业的分支机构	暂免备案
个体工商户	无需备案

主体の種類	届出 必要／不要
会社（内資、外資を含む）、パートナー企業、外国会社の支社	必要
非会社企業法人、個人独資企業、農民専門合作社（連合社）及びその支店、国内会社/パートナー企業の支店	暫定不要
個人事業主	不要



## 1 首次备案

备案主体	备案时限
2024年11月1日起在市场监督管理部门办理设立登记的备案主体	设立登记时备案
2024年11月1日前已登记注册的备案主体	2025年11月1日前完成备案

## 2 更新备案

备案主体受益所有人信息发生变化的，或者不再符合承诺免报条件的，应当自发生变化或者不符合承诺免报条件之日起30日内备案受益所有人信息。

在上海登记注册的经营主体，使用“上海企业登记在线”网上服务平台 ([https://yct.sh.gov.cn/portal\\_yct/](https://yct.sh.gov.cn/portal_yct/)) 备案受益所有人信息。



いつ実質的支配者の情報を届出しますか？？

### 1 初回の届出

届出の主体	届出のタイミング
2024年11月1日から市場監督管理部門で設立登記を行う主体	設立登記時に届出する
2024年11月1日前に登録した届出主体	2025年11月1日前に届出完了

### 2 届出の更新

届出主体が実際的支配者情報が変化した場合、または届出免除承諾条件を満たしていない場合は、変更が発生した日または届出免除承諾条件を満たしていない日から30日以内に実際的支配者情報を届出しなければならない。

上海に登録した経営主体は、「上海企業登録オンライン」オンラインサービス

プラットフォームにて「実際的支配者」の情報を記入します。

[https://yct.sh.gov.cn/portal\\_yct/](https://yct.sh.gov.cn/portal_yct/)

## 受益所有人的哪些信息需要备案?

### 需要备案的受益所有人信息包括

- |                          |          |                            |      |
|--------------------------|----------|----------------------------|------|
| 受益所有人姓名                  | 性别       | 国籍                         | 出生日期 |
| 经常居住地或者<br>工作单位地址        | 联系<br>方式 | 身份证件或者身份证明<br>文件种类、号码、有效期限 |      |
| 受益所有权关系类型以及形成日期、终止日期(如有) |          |                            |      |

根据受益所有权关系类型不同,还应填写相应**股权**、**股份**、**合伙权益**、**收益权**或者**表决权**的比例,或者**实际控制方式**。

### 确认受益所有人的标准和方法

如何确认受益所有人

<b>标准1</b> 通过直接方式或者间接方式最终拥有备案主体25%以上(含25%)股权、股份或者合伙权益的自然人。 标准1即《受益所有人信息管理办法》第六条第一款第一项的标准	<b>标准2</b> 虽未满足标准1,但最终享有备案主体25%以上(含25%)收益权、表决权的自然人。 标准2即《受益所有人信息管理办法》第六条第一款第二项的标准	<b>标准3</b> 虽未满足标准1,但单独或者联合对备案主体进行实际控制的自然人。 标准3即《受益所有人信息管理办法》第六条第一款第三项的标准
--	---	--

上述方法均无法确认受益所有人时  
负责日常经营管理的人员

### 实际的支配者的登録情報とは

- |                               |              |       |
|-------------------------------|--------------|-------|
| ①実際的支配者の名前                    | ③国籍          | ④生年月日 |
| ②性別                           | ⑤常時居住者または勤務先 | ⑥連絡先  |
| ⑦身分証明書又は身分証明書類の種類、番号、有効期限     |              |       |
| ⑧実際的支配所有権関係のタイプ、形成日、終止日(ある場合) |              |       |

実質的支配関係のタイプによっては、相応の株式、株式、パートナーシップ、収益権または議決権の割合、または実際のコントロール方式を記入しなければならない

### 实际的支配者の基準と確認方法

基準① 直接または間接的な方法により、最終的に登録主体の25%以上(25%を含む)の持ち株を出資またはパートナーシップ権益を保有する自然人。

基準①とは、「受益所有者情報管理方法」第六条第一項第一号の基準である

基準② 基準①を満たしていないものの、最終的に登録主体に対する25%以上(25%を含む)の収益権及び議決権を有する自然人。

基準②は「受益所有者情報管理規則」第六条第一項第二号の基準である。

基準③ 基準①を満たしていないものの、単独または共同で登録主体を実質的に支配する自然人。

基準③は「受益所有者情報管理弁法」第六条第一項第三号の基準である

上記の方法いずれも実際的支配者を確認できない場合、

日常経営管理を担当する人員と確認なる

## 示例

示例一：甲、乙、丙是A公司自然人股东，分别拥有A公司55%、20%和25%股权。



解读：根据标准1，甲和丙拥有A公司股权达到25%，乙拥有A公司股权未达到25%，因此，应将甲和丙作为A公司的受益所有人予以备案。

示例二：甲、乙、丙均是自然人，甲、乙分别拥有A公司30%和70%股权（分别对应30%、70%股权收益权），但通过协议约定，甲将持有的30%股权的收益权转让给丙，此时，丙享有A公司的30%股权的收益权。



解读：首先根据标准1，甲和乙直接持有A公司股权达到25%，所以甲和乙都是A公司的受益所有人；其次根据标准2，丙最终享有A公司30%股权的收益权，所以丙也是A公司的受益所有人。因此，应将甲、乙、丙作为A公司的受益所有人予以备案。

例 1: 甲、乙、丙は A 社の自然人株主であり、それぞれ A 社の 55%、20%、25% の株を所有している。

解説: 基準 1 によると、甲と丙は A 社の株式を 25% に達し、乙は A 社の株式を 25% に達していないため、**甲と丙を A 社の実質的支配者として登録しなければならない**



実質的支配者



例 2: 甲、乙、丙はいずれも自然人であり、甲、乙はそれぞれ A 社の 30% と 70% の株（それぞれ 30%、70% の株の収益権に対応する）を所有しているが、協議を通じて、甲は保有する 30% の株の収益権を丙に譲渡し、この時、丙は A 社の 30% の株式の収益権を享有している

解説: まず基準 1 に基づいて、甲と乙は A 社の株式を直接保有して 25% に達したので、甲と乙は A 社の実質的支配者であり、次に、基準 2 に基づいて、丙は最終的に A 社の株式の 30% の収益権を享受しているので、丙も A 社の実質的支配者である。そのため、**A 社の実質的支配者として甲、乙、丙を登録しなければならない**

## 示例

示例三：自然人甲、乙分别拥有A公司70%和30%股权。但实际情况是，甲是自然人丙的母亲，丙通过其母亲甲对A公司实施实际控制。



解读：首先根据标准1，甲和乙直接持有A公司股权均超过25%，所以甲和乙是A公司受益所有人；其次根据标准3，丙通过亲属关系对A公司实施实际控制，所以丙也是A公司受益所有人。因此，应将甲、乙、丙作为A公司的受益所有人予以备案。

示例四：自然人甲、乙是A公司的股东，分别持有30%和25%的股权。自然人丙不持有A公司股权，但最终享有该公司25%的收益权。自然人丁也不持有A公司股权，但能够对该公司实施实际控制。



解读：四个自然人中，甲、乙符合标准1，丙符合标准2，丁符合标准3。因此，应将甲、乙、丙、丁作为A公司的受益所有人予以备案。

例 3: 自然人甲、乙はそれぞれ A 社の 70%と 30%の株式を所有している。しかし、実際の状況は、甲は自然人丙の母親であり、丙はその母親—甲を通じて A 社に対して実際のコントロールを実施している。

解説: まず基準 1 に基づいて、甲と乙は A 社の株式を直接保有していざれも 25%を超えており、甲と乙は A 社の実質的支配者であり、次に基準 3 に基づいて、丙は親族関係を通じて A 社に対して実際の制御を実施しているので、丙も A 社の実質的支配者である。そのため、**A 社の受益者として甲、乙、丙を登録しなければならない**。

例 4: 自然人甲、乙は A 社の株主であり、それぞれ 30%と 25%の株を保有している。自然人丙は A 社株を保有していないが、最終的には A 社の 25%の収益権を有している。自然人丁も A 社の株を保有していないが、同社に対して実際のコントロールを実施することができる。

解説: 四人の自然人の中で、甲、乙は基準 1、丙は基準 2、丁は基準 3 に該当する。そのため、**A 社の実質的支配者として甲、乙、丙、丁を登録しなければならない**。

# Beneficial Owner

## 外国企業の実質的支配者の確認方法

### 如何确认外国公司分支机构的受益所有人？

#### 受益所有人确认方法

**第一步** 按照《受益所有人信息管理办法》第六条规定备案所属外国公司的受益所有人；

##### 如何确认受益所有人

**标准1** 通过直接方式或者间接方式最终拥有备案主体25%以上(含25%)股权、股份或者合伙权益的自然人。

**标准2** 虽未满足标准1, 但最终享有备案主体25%以上(含25%)收益权、表决权的自然人。

**标准3** 虽未满足标准1, 但单独或者联合对备案主体进行实际控制的自然人。

上述方法均无法确认  
受益所有人时

负责日常经营管理的人员

**第二步** 还应当将该分支机构至少1名最高层级的高级管理人员确认为受益所有人予以备案, 如外国公司分支机构负责人。

Tips: 外国公司及其分支机构不适用《受益所有人信息管理办法》第三条关于承诺免报受益所有人的规定, 外国公司在其本国享受的受益所有人申报豁免标准不适用于中国。

**Step①** 「実質的支配者情報管理弁法」第6条の規定に従って、届出する外国企業の実質的支配者を確認する。

#### 実際支配者の基準と確認方法

基準① 直接または間接的な方法により、最終的に登録主体の25%以上(25%を含む)の持ち株を出資またはパートナーシップ権益を保有する自然人。

基準② 基準①を満たしていないものの、最終的に登録主体に対する25%以上(25%を含む)の収益権及び議決権を有する自然人。

基準③ 基準①を満たしていないものの、単独または共同で登録主体を実質的に支配する自然人。

上記の方法いずれも実際的支配者を確認できない場合、

日常経営管理を担当する人員と確認なる

**Step②** また、外国企業の分機構の最高レベルの高級管理職少なくとも1名を実質的支配者として登録しなければならない。

Tips: 外国企業及びその分機構は『実質的支配者情報管理方法』第3条—実質的支配者届出免除承諾に関する規定を適用せず、外国企業が自国で享受した実質的支配者の申告免除基準は中国には適用しない。

## 示例

某境外注册公司在我国设立了一家分支机构A, 境外注册公司的股东是2位自然人, 其中股东甲持有80%股权, 股东乙持有20%股权。同时, 自然人丙是该境外注册公司分支机构A的负责人。



**解读:**首先, 甲拥有该境外注册公司股权达到25%, 符合标准1, 甲是境外注册公司分支机构A的受益所有人。其次, 丙是境外注册公司分支机构A的最高层级的高级管理人员, 丙也是境外注册公司分支机构A的受益所有人。因此, 应将甲和丙作为境外注册公司分支机构A的受益所有人予以备案。

海外会社は中国に分機構会社 A を設立し、海外会社の株主は 2 人の自然人で、その中の株主甲は 80%の株を保有し、株主乙は 20%の株を保有している。また、自然人丙は当該の海外会社の中国会社 A の責任者である。

解説 :

甲が所有する当該の海外会社の株を 25%に達し、基準 1に応じて、甲は海外会社の中国会社 A の実質的支配者である。

乙は 25%に達していないため、該当しない。

丙は海外会社の中国会社 A の最高レベルの高級管理者であり、丙も海外会社の中国会社 A の実質的支配者である。

そのため、甲と丙を海外会社の中国会社 A の実質的支配者として登録しなければならない。

## 受益所有人信息管理办法

(2024年4月29日中国人民银行令 国家市场监督管理总局令〔2024〕第3号公布  
自2024年11月1日起施行)

第一条 为提高市场透明度,维护市场秩序、金融秩序,预防和遏制洗钱、恐怖主义融资活动,根据反洗钱和企业登记管理有关法律、行政法规,制定本办法。

第二条 下列主体(以下统称备案主体)应当根据本办法规定通过相关登记注册系统备案受益所有人信息:

- (一)公司;
- (二)合伙企业;
- (三)外国公司分支机构;
- (四)中国人民银行、国家市场监督管理总局规定的其他主体。

个体工商户无需备案受益所有人信息。

第三条 注册资本(出资额)不超过1000万元人民币(或者等值外币)且股东、合伙人全部为自然人的备案主体,如果不存在股东、合伙人以外的自然人对其实际控制或者从其获取收益,也不存在通过股权、合伙权益以外的方式对其实施控制或者从其获取收益的情形,承诺后免于备案受益所有人信息。

第四条 国家市场监督管理总局统筹指导相关登记注册系统建设,指导地方登记机关依法开展受益所有人信息备案工作,及时将归集的受益所有人信息推送至中国人民银行。县级以上地方市场监督管理部门督促备案主体及时备案受益所有人信息。

中国人民银行建立受益所有人信息管理系统,及时接收、保存、处理受益所有人信息。中国人民银行及其分支机构督促备案主体准确备案受益所有人信息。

第五条 中国人民银行及其分支机构为受益所有人信息备案工作提供指导,市场监督管理部门予以配合。

第六条 符合下列条件之一的自然人为备案主体的受益所有人:

- (一)通过直接方式或者间接方式最终拥有备案主体25%以上股权、股份或者合伙权益;
- (二)虽未满足第一项标准,但最终享有备案主体25%以上收益权、表决权;
- (三)虽未满足第一项标准,但单独或者联合对备案主体进行实际控制。

前款第三项所称实际控制包括但不限于通过协议约定、关系密切的人等方式实施控制,例如决定法定代表人、董事、监事、高级管理人员或者执行事务合伙人的任免,决定重大经营、管理决策的制定或者执行,决定财务收支,长期实际支配使用重要资产或者主要资金等。

不存在第一款规定三种情形的,应当将备案主体中负责日常经营管理的人员视为受益所有人进行备案。

第七条 国有独资公司、国有控股公司应当将法定代表人视为受益所有人进行备案。

第八条 外国公司分支机构的受益所有人为外国公司按照本办法第六条规定认定的受益所有人,以及该分支机构的高级管理人员。

外国公司在其本国享受的受益所有人申报豁免标准不适用于中国。

第九条 备案主体在设立登记时,应当通过相关登记注册系统备案受益所有人信息。

无法通过相关登记注册系统办理设立登记的,可以现场办理,并在设立登记之日起30日内,通过相关登记注册系统备案受益所有人信息。

第十条 备案主体受益所有人信息发生变化,或者不再符合本办法第三条规定的承诺免报条件的,应当自发生变化或者不符合承诺免报条件之日起30日内,通过相关登记注册系统备案受益所有人信息。

第十二条 备案主体备案受益所有人信息时，应当填报下列信息：

- (一) 姓名；
- (二) 性别；
- (三) 国籍；
- (四) 出生日期；
- (五) 经常居住地或者工作单位地址；
- (六) 联系方式；
- (七) 身份证件或者身份证明文件种类、号码、有效期限；
- (八) 受益所有权关系类型以及形成日期、终止日期（如有）。

存在本办法第六条第一款第一项规定情形的，还应当填报持有股权、股份或者合伙权益的比例；存在本办法第六条第一款第二项规定情形的，还应当填报收益权、表决权的比例；存在本办法第六条第一款第三项规定情形的，还应当填报实际控制的方式。

第十三条 国家有关机关为履行职责需要，可以依法向中国人民银行获取受益所有人信息。

金融机构、特定非金融机构履行反洗钱和反恐怖主义融资义务时，可以通过中国人民银行查询受益所有人信息。

国家有关机关以及金融机构、特定非金融机构对依法获得的受益所有人信息应当予以保密。

第十四条 国家有关机关以及金融机构、特定非金融机构发现受益所有人信息管理系统中的备案主体受益所有人信息存在错误、不一致或者不完整的，应当及时向中国人民银行反馈。中国人民银行可以根据情形依法采取措施进行核实，备案主体应当配合。

对市场透明度、金融透明度有显著影响的备案主体，中国人民银行等主管部门可以要求其补充提供确定受益所有人所需要的股权、合伙权益、收益权、表决权、控制关系等情况的材料。

第十五条 备案主体未按照规定办理受益所有人信息备案的，依照企业登记管理有关行政法规处理。

中国人民银行及其分支机构发现备案主体备案的受益所有人信息不准确的，应当责令备案主体限期改正；拒不改正的，处 5 万元以下的罚款。

第十六条 在本办法实施前已经登记注册的备案主体，应当于 2025 年 11 月 1 日前，按照本办法规定备案受益所有人信息。

第十七条 本办法自 2024 年 11 月 1 日起施行。